

# 第4次大月市行政改革大綱 平成27年度体系別進捗状況一覧

## 【進捗状況一覧表の見方】

- ①達成率について  
 計画策定時に定めた推進計画を年度ごとに検証します。  
 平成27年度に定めた目標に対して、実績・成果がどの程度達成しているかを表します。
- ②最終目標（平成28年度）に対しての現時点での進捗状況について  
 平成28年度の最終目標に対して、現在のどの程度進捗しているかを以下の6段階で表します。
- 6 取組をすべて実施し、実施項目の目的を達成した
  - 5 予定以上の進捗（当該年度の取組内容以上に進捗した場合）
  - 4 予定通りの進捗（当該年度の取組内容まで進捗した場合）
  - 3 実施したが、現在の内容が妥当と判断。今後も継続して内容を検証。
  - 2 実施したが、予定未達の進捗（当該年度の取組内容まで進まなかった場合）
  - 1 次年度以降に実施予定
- 具体的な事業の実施内容は「平成27年度実施計画シート」をご覧ください。  
 （※大月市ホームページに掲載）

## 1 市民に開かれた市政の推進（指標13項目）

推進項目	具体的項目	平成27年度	①平成27年度達成率	②最終目標（平成28年度）に対しての進捗状況	計画シートNO.	担当課等名
	事業内容(目安となる内容) 目標指標	実績要旨(取り組み内容)				
(1) 市民参画の推進と市民の声の反映	① 市民参画機会の拡充					
	(①) 公募委員の推進 達成委員会数/対象委員会数	各課に公募委員の参画を促した。公募委員参画基準の作成には至らなかったが、大月市第7次総合計画策定に伴う市民会議の委員を公募したところ、1名の応募があった。	70%	2 予定未達の進捗	1	企画財政課
	(②) 男女共同参画社会の推進 達成団体数/対象団体数	平成25年度に共通する男女共同参画推進基準(女性割合30%)を定め、対象団体を選定した。この基準により5団体が達成している。平成27年3月末に男女共同参画推進委員会において策定した、本市の男女共同参画推進の基本計画となる第2次男女共同参画プランと合わせた周知を継続して行った。	62%	2 予定未達の進捗	2	秘書広報課
	② 公聴機会の拡充					
	(①) 市長への手紙の推進 募集機会(媒体等)	広報4月号により、専用紙である「市長への手紙」を折り込み、周知した。また、専用紙を市内公共施設に設置し、常時対応している。なお、庁内の対応手順(システム)については、浸透している。 H27実績 25件(うち要回答17件)※手紙に対する対応状況を6月広報に掲載した。	100%	4 予定通りの進捗	3	秘書広報課
	(②) 市長の部屋の推進 発信機会(媒体等)	各議会開催ごとに所信、月ごとに交際費、週ごとに週間予定を発信することとし、更新頻度を高めた。なお、庁内の対応手順(システム)については、浸透している。	100%	4 予定通りの進捗	4	秘書広報課
	(③) 出張市長室、地区対話集会の推進 年実施回数	対話集会…市政協力委員長委嘱式との同時開催により、8日間、10公民館単位(笹子、初狩、真木、大月、賑岡、七保、瀬戸、猿橋、富浜、梁川)で実施した。 出張市長室…広報1月号の新春対談(市長とみらい協議会4名、地域おこし協力隊2名)形式で実施した。	100%	4 予定通りの進捗	5	秘書広報課
	③ 協働体制づくりの構築					
	(①) アダプトプログラムの推進 団体の育成(参加)及び活動維持	平成27年度3月末現在 28団体が加盟している。 平成27年度は取り止めが1団体、新規参加団体が1団体であった。代表者が変更になる団体には、新たな代表者に対してアダプト・プログラムの主旨を再度説明することで、地域の活動が継続されるよう地域の意識の高揚に努めた。	80%	4 予定通りの進捗	6	市民課
	(②) 自治会組織充実の推進 自治連合組織の確立	自治会組織ごとの組、世帯数を最新の情報に更新した。また、役員等選出に苦慮している状況が一部地区でみられた。さらに、地域全体に関わる意見集約が必要となり、各自治会を束ねる組織の必要性を地区住民が感じたが、住民の意思統一を如何にして図るべきか等検討が必要であった。今後発生するであろう地域全体の意見集約の際、住民の意思を確認し、組織設立を検討することとなった。	- (目標値なし)	2 予定未達の進捗	7	秘書広報課
(③) ボランティア活動の推進 ボランティアコーディネーターによるボランティア活動の円滑な運営	地域福祉推進事業にて社会福祉協議会にボランティアセンターの運営を委託。同事業内にてボランティア講習会を開催し、ボランティアの育成を行った	100%	4 予定通りの進捗	8	福祉課	
(④) 観光ボランティアの推進 ガイド認定者数、案内人数の増加	ホームページ等にて、大月市観光ボランティアガイドを随時募集中。通年、ホームページやチラシ等にて、観光ボランティア利用希望者を募集し、「名勝 猿橋」において観光案内を実施するほか市内山々の登山ガイドを実施。 5月、11月に登山ガイドと登るトレッキングツアーを企画し、5月は雨天のため中止となったが、11月のツアー(御前山・菊花山)には23名が参加した。 【27年度中ボランティア認定者 0名 認定者総数22名】 【猿橋 案内人数 平成27年度 10,930人 (平成26年度18,027人)】	0%	2 予定未達の進捗	9	産業観光課	

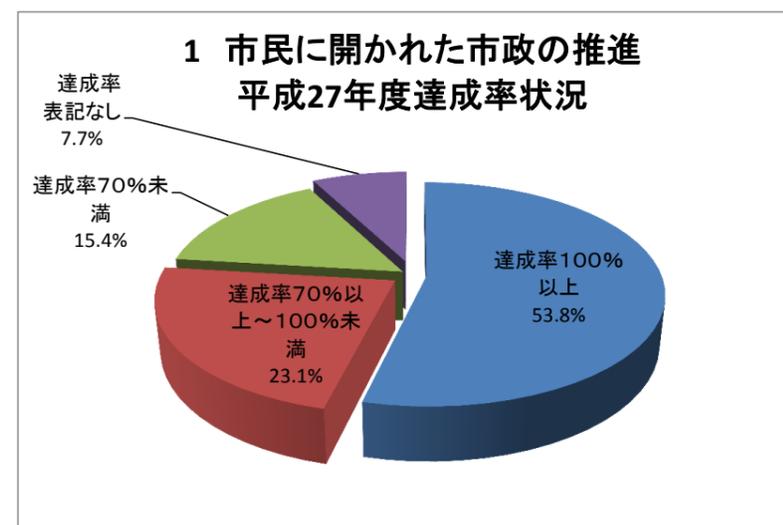
推進項目	具体的項目	平成27年度	①平成27年度達成率	②最終目標（平成28年度）に対する進捗状況	計画シートNO.	担当課等名
	事業内容(目安となる内容) 目標指標	実績要旨（取り組み内容）				
(2) 公正の確保と透明性の向上	① 個人情報保護対策の推進					
	(①) 個人情報保護対策の推進 更新回数	平成27年4月において個人情報保護台帳を全課において見直し作業を実施し、修正等を行った。また新規取扱については、随時更新作業を実施した。	100%	4 予定通りの進捗	10	総務管理課
	(②) 情報セキュリティの推進 情報漏えい件数、研修の受講率	・情報漏えい 0件 ・情報セキュリティ研修の実施 ・受講コース数 9コース 受講者数（延べ数）1,278人 終了者数（述べ数）1,204人	94%	2 予定未達の進捗	11	企画財政課
(3) 広報活動の充実	① 市広報誌の充実					
	(①) 広報「おおつき」充実の推進 市民満足度調査の実施	毎月6～14ページをカラーページとした他、カラーページと2色刷り2～8ページで、一つのテーマを掘り下げる形の特集コーナーとした。また、余白を意識し、見やすいデザインに見直した。前年度に引き続き平成28年1月号表紙では、「笑顔の写真」で綴る広報おおつきと題し、応募のあった市民107名の写真を掲載した。市民満足度調査については、地区対話集会及び「笑顔の写真」募集と併せて、広報誌に関する意見聴取を実施した。	100%	4 予定通りの進捗	12	秘書広報課
	② ホームページの充実					
	(①) ホームページ充実の推進 ホームページ閲覧人数	・市公式フェイスブックからホームページへの誘導によりホームページアクセス数の増加を図るなど、情報発信を強化した。 ・実績値…171,187人(H27.4.1～H28.3.31)	171%	5 予定以上の進捗	13	秘書広報課

■ 平成27年度達成率状況割合

達成率100%以上	53.8%	(7項目)
達成率70%以上～100%未満	23.1%	(3項目)
達成率70%未満	15.4%	(2項目)
達成率表記なし	7.7%	(1項目)

■ 検証・分析結果

- ・「(1) 市民参画の推進と市民の声の反映」  
地区対話集会を10公民館単位に増やし、市民との直接の意見交換の機会の充実を図った。
- ・「(2) 公正の確保と透明性の向上」  
情報セキュリティの推進として、庁内ネットワークシステムを利用した職員対象のセキュリティ研修を実施すると共に、庁内システム・ネットワーク等のセキュリティ環境の強化を図った。
- ・「(3) 広報活動の充実」  
広報おおつきについては、カラーページや余白を意識するなど誌面を工夫し、誌面の充実を図った。  
ホームページについては、大月市公式Facebookとの相乗効果により閲覧回数の増加が図られた。



■ 平成28年度の目標に対する進捗状況について（指標13項目）

進捗状況	割合	項目数
6 取組をすべて実施し、実施項目の目的を達成した	0%	0
5 予定以上の進捗（当該年度の実施内容以上に進捗した場合）	7.7%	1
4 予定通りの進捗（当該年度の実施内容まで進捗した場合）	53.8%	7
3 実施したが、現在の内容が妥当と判断。今後も継続して内容を検証。	0%	0
2 実施したが、予定未達の進捗（当該年度の実施内容まで進まなかった場合）	38.5%	5
1 次年度以降に実施予定	0%	0

## 2 効率的な行政運営の確立（指標20項目）

推進項目	具体的項目		平成27年度		①平成27年度達成率	②最終目標（平成28年度）に対する進捗状況	計画シートNO.	担当課等名
	事業内容(目安となる内容)	目標指標	実績要旨（取り組み内容）					
(1) 事務事業の再編・整理・廃止・統合	① 行政評価システムの確立							
	(①) 行政評価の推進 大月市行政評価実施要綱の改正		昨年度に引き続き116項目の指標について事務事業の事後評価を行った。26年度事後評価を取りまとめ、8月に行政評価検討委員会の評価を行い、議会に説明後、広報、ホームページで公表した。		50%	2 予定未達の進捗	14	企画財政課
	② 事業仕分けの検討及び実施							
	(①) 事業仕分けの推進		※進行管理なし		—	進行管理なし	—	—
	③ 各種行事、イベントの効率化							
	(①) 各種行事、イベント見直しの推進 見直し実施回数		各種事業、イベントごとの経費、参加者数の推移、類似イベントの有無等を調査したものの、他市の状況の確認は行っていない		50%	2 予定未達の進捗	15	福祉課
(①) 各種行事、イベント見直しの推進 見直し実施回数		例年、市が補助金を交付しているかがり火市民祭りや大ツキ軽トラ市については、市民組織が運営主体となっており、他市の主催イベントと比較検証することが難しい。しかしながら、行政が多くの業務を担っている部分もあり、その見直しを進言していきたい。また、収入に見合ったイベント企画を進言していきたい。【※詳細は実施計画シートを参照】		80%	3 現在の内容が妥当と判断	16	産業観光課	
(①) 各種行事、イベント見直しの推進 調査、検討回数		他の部署で行われている行事・イベントと連携して良いのではないかとという行事はあるが、費用、日程、主管、開催行事等の調整が付かない状況であるが、社会教育担当と資料館で別々に開催していたイベントを合同で開催した。また、県内他市町村の実施している行事は引き続き調査をしていく。		60%	2 予定未達の進捗	17	社会教育課	
(2) 柔軟な組織・機構への再編・改善	① フラットな組織の改編							
	(①) 組織、機構見直しの推進 意見聴取実施回数		7月の実施計画ヒアリングや8月の事務改善要望のアンケートを実施する中で、28年4月に向けて新たな組織機構体制を構築するため、12月に事務改善委員会等を開催し、市立中央病院の企画調整、経営健全化等に取り組むため、新たに医事管理課内に経営企画担当を設置することとした。		100%	4 予定通りの進捗	18	企画財政課
	② 職員の適正配置							
	(①) 適正な人材配置の推進 異動希望調査及び人事評価の実施回数		今年度も異動希望調査及び人事評価を実施し、4月1日人事異動の基礎資料として活用した。		100%	4 予定通りの進捗	19	秘書広報課
③ 大月短期大学の将来構想策定								
(①) 将来構想策定の推進 将来構想の策定		平成27年度は、新カリキュラム(案)・シラバス(案)の作成、コース選択制導入に伴う学則等の改正など、内容の検討を行った。認証評価については、公益財団法人大学基準協会より「短期大学基準適合認定」を得た。 認定期間 自 平成28年4月1日 至 平成35年3月31日		100%	4 予定通りの進捗	20	短大事務局	
(3) 効率的な公共施設の管理運営	① 公共施設・サービスの検討							
	(①) 民間委託の推進 民間委託の基本的な方針の決定		平成25年4月から実施を目指した「大月市行政業務の民間委託に関する計画」を検討した結果、現在の法律上では一部の事業のみを対象としているため、十分なメリットが現れなかったため導入を見送ったところである。昨年に続き、情報収集を行ったが、国による法律改正等もなく、新たに市のメリットが発生する状況には至っていない。今後も情報収集を継続する。		50%	3 現在の内容が妥当と判断	21	企画財政課
	(②) 給食センター 管理運営検討の推進 方針の決定		職員の退職等による減員を、賃金職員やパート職員の補充で対応し、経費削減に努めている。児童生徒の食育と健康増進を図るため、バランスのとれた栄養のある食事を提供すると共に、アレルギー除去食の提供に努めた。 学校給食センター民間委託等庁内検討委員会において、定年退職等により職員が減少状況にあることから、保護者や学校関係者の理解を得る中で民間委託を検討する方針となっている。【※詳細は実施計画シートを参照】		100%	4 予定通りの進捗	22	学校教育課
	(③) 社会教育施設 管理運営検討の推進 調査・検討回数		各施設ごとに経費、利用状況についてはここ数年集計をしている。 利用者からの声で老朽化や機能不足については不満が多い。 運営形態の検討については、現状の予算や施設状況では、外部委託による民間活力の導入は効果が低いことが明らかとなっているが、他の運営形態は見つかっていない。		100%	3 現在の内容が妥当と判断	23	社会教育課
	(③) 社会体育施設 管理運営検討の推進 委員会の設置・審議会の開催		社会教育、社会体育施設の建物の状況やサービス提供状況、管理運営状況などの調査を行い取りまとめた。スポーツ施設の利用者数は、減少傾向となっている。各施設の地域的なバランスも考慮しないと、単に老朽化や、利用者の減少の理由だけでは廃止は困難であり、更にデータを集積する必要がある。学校開放施設については小中学校の適正配置化が終了したので今後併せて検討していく。		25%	2 予定未達の進捗	24	社会教育課

推進項目	具体的項目		平成27年度		①平成27年度達成率	②最終目標（平成28年度）に対するの進捗状況	計画シートNO.	担当課等名	
	事業内容(目安となる内容) 目標指標	実績要旨(取り組み内容)							
(3) 効率的な 公共施設 の管理運営	(4)火葬場 管理運営検討の推進  施設の方向性の決定	施設の適切な運営と故障など不測の事態への対応等を考慮し、平成24年度から管理運営業務を火葬炉メーカーに委託するとともに、保守点検を適宜行い適切な施設の修繕を行うことで施設の延命化に努めている。施設の更新は、都留市、上野原市との共同設置と運営について厳しい状況であることから、単独で設置することを前提として現在地への立て替えを基本に建設時期と併せ、検討を進めている。	100%	4 予定通りの進捗	25	市民課			
	(5)ふれあいの館 管理運営検討の推進  入場者数の増加	ふれあいの館を改修し、25年4月13日に1階に「白旗史朗写真館」としてリニューアルオープンしたことで集客数は延びている。ふれあいの館周辺についても、桜の苗木を植えたり、老朽化した土留木杭の取り換えなど、環境美化を図った。集客人数 平成22年度 4,015人 平成23年度 3,149人 平成24年度 3,406人	117%	5 予定以上の進捗	26	産業観光課			
	② 公共施設の適正規模化推進								
	(1)小中学校の適正配置、統廃合の推進  計画に基づく適正配置	大月東小学校南棟改修、北棟及び体育館新築が完成し、2月に竣工式を行った。大月西小・強瀬小・富浜中の閉校事業を実施し、3月に閉校式典を行いました。	100%	6 目的を達成	27	学校教育課			
	(2)公立保育所の適正配置、幼保一元化推進  進捗状況	各園との意見交換及び学校教育課との協議において、東部地区への設置の必要性が考えられるため、具体的な場所、設置主体、運営方法等について、幾つかの設置案を検討した。	100%	4 予定通りの進捗	28	福祉課			
	(3)公民館、集会施設等適正配置検討の推進  検討回数	各地区分館の利用状況の把握のため、各分館の管理日誌の記録を依頼した。平成28年度の公民館運営審議会の席上でデータを提出していただく予定である。公共施設等総合管理計画策定に係り、社会教育施設の改修、統廃合等の整備について社会教育委員会議へ諮問を行った。	50%	2 予定未達の進捗	29	社会教育課			
	(4)教員住宅の適正配置検討の推進  教職員の充足率に合わせた適正化	教員住宅については、集約化を図る段階に来ており平成28年度の入居状況により、強瀬教員住宅の15戸で対応可能となることが考えられるが、強瀬については、単身世帯用であり、暫くの間については、百蔵教員住宅の世帯用を確保しておく必要があり、強瀬教員住宅と百蔵教員住宅の2棟を教員住宅として確保しておくことが望ましい。また、浅利教員住宅においては、教員住宅としての用途を廃止し、大月市全体における利用用途の検討を実施することとし、利用が決まった段階において行政財産の移管手続きを行うこととしたい。	- (目標値なし)	4 予定通りの進捗	30	学校教育課			
	③ 大月高校の閉校準備								
	(1)閉校に向けた計画策定の推進  計画の実施	施設利用については、短期大学新校舎建設のため、以下の工事に着手した。 「岩殿ホール他改修工事」平成27年9月完了 「設備幹線切り回し工事」平成27年11月完了 「管理棟・高校棟解体工事」平成28年5月完了予定 また、「新校舎建設事業実施設計業務」について平成28年3月完了した。	100%	4 予定通りの進捗	31	短大事務局			
	(4) 広域行政 の推進	① 広域行政の推進							
(1)行政事務共同化の推進  追加する共同事業：1事業		「山梨県東部広域連合養護老人ホーム民営化に伴い、「社会福祉法人 山の都福祉会」を、移管先法人の候補者とする設置管理条例や規約変更・広域圏計画の見直し、財産処分等の事務を平成27年度中に進め、平成28年度からの民設民営化を目指す取り組みを進めていたところ、平成27年8月6日付けで民営化事業移管先法人先から、建設資金計画に目途が立たなくなったことにより辞退届が提出され、建設計画は中止となった。このため、平成27年度内に、今回の建設計画中止にあたっての経緯等を検証し、再度、民設民営化による施設整備を目指し、募集要件にある条件緩和や財政支援の追加検討を引き続き行うこととなった。また、新たな共同事務の検討を開始するにあたり、「県東部地区広域消防について」を第1の候補として、協議を始めることとした。なお、行政不服審査法の全面改正により、平成28年度から審査請求に係る第三者機関の設置が義務付けられたことに伴い、構成市村と協議の結果、東部広域連合で共同事務として処理することとなり、28年3月定例会において規約変更の議決がなされた。	75%	2 予定未達の進捗	32	企画財政課			
(2)消防業務広域化の推進  消防業務の広域化・高機能指令センターシステムの整備	3市による消防指令業務が運用されたことに伴い、今後、消防体制の充実強化を図るため、消防広域化にむけての検討を推進していく。	- (目標値なし)	6 目的を達成	33	消防本部				

■ 平成27年度達成率状況割合

達成率100%以上	50%	(10項目)
達成率70%以上～100%未満	10%	(2項目)
達成率70%未満	30%	(6項目)
達成率表記なし	10%	(2項目)

■ 検証・分析結果

・ 「(1) 事務事業の再編・整理、廃止・統合」

行政評価については、平成24年度から再開され、継続的に実施し、広報・ホームページにて公表している。予定未達の項目については、次年度以降に実施予定である。

・ 「(2) 柔軟な組織・機構への再編・改善」

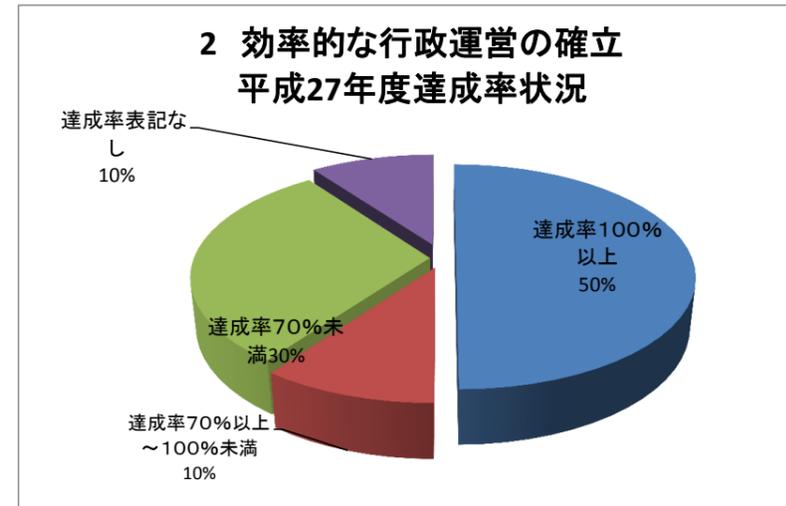
市立中央病院の企画調整・経営健全化を目指し、28年4月から医事管理課内に経営企画担当を新設することとなった。大月短期大学では、公益財団法人大学基準協会より「短期大学基準適合認定」を受けた。

・ 「(3) 効率的な公共施設の管理運営」

民間委託について、現在の法律では一部の事業のみを対象としているため十分なメリットがなく導入を見送った経緯があり、今後民間委託についての法律改正により再度検討することとし、引き続き情報収集に努める。大月東小南棟改修、北棟及び体育館新築が完成した。大月西小、強瀬小、富浜中の閉校事業を実施し、予定通り適正配置が完了した。ふれあいの館はリニューアル後、利用者数は延びている。

・ 「(4) 広域行政の推進」

共同事務については、「県東部地区広域消防について」を第1の候補として協議を始めることとなった。山梨県東部広域連合養護老人ホーム民営化については、今回の建設計画中止にあたっての経緯等を検証し、引き続き民設民営化による施設整備を目指していく。



■ 平成28年度の目標に対しての進捗状況について（指標20項目）

	割合	項目数
6 取組をすべて実施し、実施項目の目的を達成した	10.0%	2
5 予定以上の進捗（当該年度の取組内容以上に進捗した場合）	5%	1
4 予定通りの進捗（当該年度の取組内容まで進捗した場合）	40.0%	8
3 実施したが、現在の内容が妥当と判断。今後も継続して内容を検証。	15.0%	3
2 実施したが、予定未達の進捗（当該年度の取組内容まで進まなかった場合）	30.0%	6
1 次年度以降に実施予定	0.0%	0

### 3 健全な財政運営の推進（指標44項目）

推進項目	具体的項目	平成27年度	①平成27年度達成率	②最終目標（平成28年度）に対する進捗状況	計画シートNO.	担当課等名
	事業内容(目安となる内容) 目標指標	実績要旨（取り組み内容）				
(1) 財政運営の健全化	① 健全な財政運営の推進					
	① 一般会計における目標設定と推進 将来負担比率、実質公債費比率	健全な財政運営を目指し、平成25年度には、土地開発公社解散のため、第三セクター等改革推進債を借入れた。これにかかる元金返済は一年間の公債費の約1割を占め、実質公債費比率を引き上げることになる。これらを踏まえた「実質公債費比率」「将来負担比率」を、市広報11月号にて公表した。2つの目標値のうち、「将来負担比率」は達成した。 【※詳細は実施計画シートを参照】	50%	2 予定未達の進捗	34	企画財政課
	② 受益者負担の適正化					
	① 使用料、手数料、負担金適正化の推進 見直し実施回数	県内の各市の手数料の実態を調査したところ、ほぼ同額であり、現在の料金が適正と思われる。今後も絶えず確認作業を実施し、必要であれば変更も検討したい。	100%	3 現在の内容が妥当と判断	35	税務課
	① 使用料、手数料、負担金適正化の推進 見直し実施回数	県内各市の手数料を調査し、他市との比較を行った結果、適正な設定であることを確認した。（自動交付機や住基カードによるコンビニ交付を除く）	100%	4 予定通りの進捗	36	市民課
	① 使用料、手数料、負担金適正化の推進 調査、見直し回数	犬の登録手数料及び狂犬病予防注射済票交付手数料は、県内一律の同額料金で各市の手数料条例において規定されている。狂犬病予防法に基づく狂犬病の予防という観点から現在の料金は妥当であり、かつ県内他市町村で料金の見直しの動きがないことから、現段階において見直しの必要はないものと思われる。	100%	3 現在の内容が妥当と判断	37	市民課
	① 使用料、手数料、負担金適正化の推進 調査、見直し回数	・周辺市町村の多くが同様の事業を実施している。 ・平成27年度実績 申請地区数 76件（前年比1件増）、故障による修理回数 4回 ・昔ながらの家屋が多く存在する地区では効果が実感されている一方で、その他の地区では事業自体が地域の年間イベントの一つとなっているような様相を呈している。地域コミュニティを推進するうえでも効果的な事業と捉えられる。	75%	3 現在の内容が妥当と判断	38	市民課
	① 使用料、手数料、負担金適正化の推進 見直し実施回数	他市料金等を比較し検討した結果、現在の内容は妥当と判断し同額とした。今後も継続して内容を検証していく。	100%	3 現在の内容が妥当と判断	39	保健介護課
	① 使用料、手数料、負担金適正化の推進 見直し実施回数	健診の自己負担額については、算定基礎の作成には至らなかった。 もぐもぐ教室や親子料理教室、男性料理教室において材料費として参加者一人当たりにかかる実費300～500円を徴収し、実費範囲内で賄えた。	50%	2 予定未達の進捗	40	保健介護課
	① 使用料、手数料、負担金適正化の推進 見直し実施回数	平成26年度に県内他市の状況を調査し、適正であることを確認しており、平成27年度において県内他市の改正情報等が無かったため、調査内容に変更がないものと判断し、調査は行っていない。	100%	3 現在の内容が妥当と判断	41	産業観光課
	① 使用料、手数料、負担金適正化の推進 適正な対象物件の抽出と、使用料の徴収	継続して新規の占有物件はじめ全体の物件について適正な把握に努め、占有料の徴収を行った。 道路占有看板などについても指導し、徴収を実施。【※詳細は実施計画シートを参照】	100%	4 予定通りの進捗	42	建設課
	① 使用料、手数料、負担金適正化の推進 調査、比較、検討回数	他市町村の同等施設との比較においては本市施設の使用料に著しい差異はない。しかし、施設の利用状況及び利用者のアンケート等により利用者の増加を図る検討を行い、満足度を高める対策を進め、使用料の積算根拠及び減免規定の見直し検討を進める。	100%	3 現在の内容が妥当と判断	43	社会教育課
	① 使用料、手数料、負担金適正化の推進 見直し回数	「診断書料等」については、平成26年4月1日から見直した料金で運用を行っている。 「保育室利用負担金」については、利用者（対象児童）の減少により、労働環境の確保と改善など、総合的に勘案する中で、今後、運営方法等とともに「負担金の見直し」を検討していきたい。 （運営については、民間委託を検討はじめていたが、費用が大幅に増加が見込まれ、対象児童の減少も伴い、民間委託検討は厳しい状況にある。）	70%	4 予定通りの進捗	44	中央病院
③ 公有財産有効活用の推進						
① 未利用財産処分の推進 売り出し回数	未利用地売却として、岩殿ニュータウン分譲地（45区画）と旧仲山団地跡地（4区画）の普通財産を平成28年2月15日から公募したが、平成27年度中は応募がなかった。	0%	2 予定未達の進捗	45	総務管理課	

推進項目	具体的項目	平成27年度	①平成27年度達成率	②最終目標（平成28年度）に対する進捗状況	計画シートNO.	担当課等名
	事業内容(目安となる内容) 目標指標	実績要旨（取り組み内容）				
(1) 財政運営の健全化	④ 経費の節減・削減					
	(①) 補助金、負担金適正化の推進 見直し実施回数	県内他市との状況を比較するには、それぞれの団体と各自治体の連携に差異があるため単純な比較は困難である。また、すでに平成22年度から補助金を削減していることから、今後も交通安全対策推進事業を連携して行っていきながら活動の状況を注視し、適正な補助金の交付に努める。	100%	3 現在の内容が妥当と判断	46	市民課
	(①) 補助金、負担金適正化の推進 見直し実施回数	・太陽光発電システム設置費、生ごみ処理機及び生ごみ処理容器設置費の県内他市の補助金状況については、市町村に照会し、その調査結果を活用している。 ・太陽光発電システム設置費補助金については、平成27年度は24件の補助金申請があり以前より減少している。県内他市町村をみると補助事業を打ち切る市町村もみられ、本市は平成16年度からの事業であることから、概ね当初の目標を達成したものと想定され、廃止を検討する。 ・生ごみ処理機及び生ごみ処理容器設置費補助金については、平成27年度はそれぞれ1件の申請があり、ここ数年減少してきている。住民の要望も薄くなりつつあることから、生ごみ処理容器の他に、ごみ減量に関する新たな事業を今後、ごみ減量推進協議会において検討していく。	50%	4 予定通りの進捗	47	市民課
	(①) 補助金、負担金適正化の推進 見直し実施回数	既に敬老祝金の101歳以上については、5万円を3万円に減額、長寿祝金については、20万円を10万円に減額していることから見直しはせず、現状で継続する。 子育て支援手当は、13市中大月市を含め6市が実施しており、手当額もまちまちであるが、現状で継続する。	100%	4 予定通りの進捗	48	福祉課
	(①) 補助金、負担金適正化の推進 見直し実施回数	医師会・歯科医師会への補助金については、日頃より保健行政への協力があり、補助金は適正であると思われるが、今後も継続して検証していく。 保健活動推進委員会は、地域における食育・愛育など活動実績もあり、また会としての会費も徴収している。今後も多くの活躍が期待されるため、補助金は適正であると思われる。	50%	3 現在の内容が妥当と判断	49	保健介護課
	(①) 補助金、負担金適正化の推進 見直し実施回数	平成26年度に調査した10市に対して各種補助金の再調査を行った。 各市で形態や状況も異なるため、単純比較はできないが、回答が得られた市と比較すると、全体的には本市の補助額の方が低いと思われる。 今後も引き続き、他市の状況を確認し、適切な補助金交付に努める。	100%	3 現在の内容が妥当と判断	50	産業観光課
	(①) 補助金、負担金適正化の推進 見直し実施回数	県内他市との状況を比較するには、各自治体間に差異があり比較が困難だが、教育事務所を通じて他市の事例等の情報提供を受けようとしており、補助金支出の適正化を図っている。なお、補助金は、児童生徒の学力向上・安全安心に寄与するものであり、学校予算のヒアリングにおいて、各校から事業内容の聴き取りを行い、補助金交付申請に基づき、内容精査のうえ補助金を交付し、実績報告書により適正に処理されているか確認を行っている。	100%	3 現在の内容が妥当と判断	51	学校教育課
	(①) 補助金、負担金適正化の推進 見直し実施回数	近隣2市の補助金、負担金の交付状況は確認したが、それ以外の市については確認していない。 交付事業の内容については、明確な実績報告書の作成を依頼しており、徐々に趣旨を理解してもらっている。今後も内容等を確認し適正化に努めていく。	20%	2 予定未達の進捗	52	社会教育課
	(①) 補助金、負担金適正化の推進 見直し実施回数	・消防団第6分団(朝日小沢地内) 火の見やぐら修理 塗装 453,600円 地元負担金 302,600円 交付金額 151,000円 ・第6分団(小篠) 消火栓改修工事 改修費595,080円 地元負担金400,080円 交付金額198,000円 ・他市町村の補助金の交付状況について調査を行い、比較検討を行った。 ・消防団からの補助金申請により計画どおり行ったが、急遽消火栓の漏水申請があり緊急を要することから補正で対応した。	100%	4 予定通りの進捗	53	消防本部
	(②) 経費節減マニュアルの推進 取り組み状況	大月市行政経費節減マニュアルについて見直し検討中。 マニュアルにある経費のうち、特に、「時間外勤務」、「光熱水費」、「用紙及び印刷」については、経費節減の徹底を図った。	30%	1 次年度以降に実施予定	54	企画財政課
(③) 公用車経費節減、削減の推進 車両台数の削減	減：なし。 増：保健介護課地域包括支援センター軽自動車1台、産業観光課（地域おこし協力隊）の軽トラ1台 結果 増2台となった 平成27年度末の現有車両は、76台となった。	-200%	2 予定未達の進捗	55	総務管理課	
⑤ 市税等の滞納対策強化						
(①) 市税 滞納対策の推進 現年収納率	口座振替の推奨（金融機関、出張所への推奨文の常置）、広報による納税の周知(6月号)、コンビニ収納の実施（156,672,199円の収納実績）等を実施した。【※詳細は実施計画シートを参照】 (平成26年度収納率 98.65%、平成27年度収納率 98.89%)	100.14%	4 予定通りの進捗	56	税務課	

推進項目	具体的項目	平成27年度	①平成27年度達成率	②最終目標（平成28年度）に対する進捗状況	計画シートNO.	担当課等名
	事業内容(目安となる内容) 目標指標	実績要旨(取り組み内容)				
(1) 財政運営の健全化	(2) 国民健康保険税 〃 現年収納率	口座振替の推奨（金融機関、出張所への推奨文の常置）、広報による納税の周知（6月号に掲載）、コンビニ収納の実施（69,316,700円の収納実績）【※詳細は実施計画シートを参照】 （平成26年度収納率90.65%、平成27年度収納率 90.70%）	99.56%	4 予定通りの進捗	57	税務課
	(2) 国民健康保険税 〃 未納状況通知回数	年間を通して広報等を利用し、国民健康保険制度への理解と周知を行った。3月の保険証更新前には未納者に通知を送付し、短期証や資格証にならないよう国保税の納付を促した。また、短期証更新時には、滞納額は多いが納付額が少ない滞納者に対し、税務課職員と一緒に相談に応じ、国保にかかる医療費についての説明を行い、収納率の向上に努めるとともに、徴収強化月間（10-12月）には税務課職員と訪問徴収を行った。	50%	2 予定未達の進捗	58	市民課
	(3) 後期高齢者医療保険料 〃 未納者に対するの収納割合	保険料の納付は年金からの特別徴収が多いため、収納率も県平均を上回り、制度的には安定してきている。未納の被保険者に対しては、徴収強化月間（10-12月）には税務課職員と訪問徴収、出納閉鎖前には電話による催告を行った。平成26年度末後期高齢者保険者中35名が未納 電話催告及び訪問徴収等により25名が納付（28.3末現在） 未納者に対するの収納割合 71.4%	88%	2 予定未達の進捗	59	市民課
	(4) 介護保険料 〃 現年収納率	口座振替の推奨（金融機関、出張所への推奨文の常置）、広報による納税の周知（6月号に掲載） 文書による催告（5、8、11月の3度実施）【※詳細は実施計画シートを参照】 （平成26年度収納率99.15%、平成27年度収納率99.14%）	99.89%	4 予定通りの進捗	60	税務課
	(4) 介護保険料 〃 実施回数	10月～12月に税務課と合同で訪問徴収を実施した。また12月に電話催告を行い、単独で2月に訪問徴収を実施。合計76件の訪問徴収を実施した。	100%	4 予定通りの進捗	61	保健介護課
	(5) 保育園費負担金 〃 収納率	前年度に引き続き児童手当支払（6、10、2月）時に催告書を発送し納付相談を行い、児童手当を窓口払い及び、自宅への訪問等を実施し、収納率の向上を図った。 【参考：平成26年度収納率96.36%、平成27年度収納率96.43%】	99.97%	4 予定通りの進捗	62	福祉課
	(6) 市営住宅使用料 〃 毎月、未納を確認した時点で電話催告、訪問徴収等実施回数	市営住宅家賃の滞納対策については、滞納整理方針及び滞納徴収マニュアルに基づき納付指導（電話催告、訪問徴収等）を行った。平成27年度においては、最終的に2名が訴訟まで進んだが、相手方2名より和解の申出があり、「滞納家賃5割相当額の支払及び残額2年以内の完納」により、訴訟上の和解をした。このように最終的に法的手段を実施することで、滞納者に対しては一定の滞納抑止につながっている。	100%	4 予定通りの進捗	63	建設課
	(7) 簡易水道使用料 〃 訪問徴収回数	毎月、納付書発送時に滞納者には督促状を発送している。また、滞納者に対しては、随時電話、訪問による督促や訪問時に集金を行なっている。高額滞納納者については、来庁、または訪問する日を決めるなど定期的に集金を行い、未納額を減らすよう対応している。また、25年度に簡易水道料金滞納整理の対応方針（内部規定）を定めており、これに基づき随時対応している。	100%	4 予定通りの進捗	64	地域整備課
	(8) 学校給食費負担金 〃 実施回数	・未納者に対しては、各学校において毎月督促状の送付や電話で対応している状況。 ・学校給食センターにおいても10月と3月の計2回、未納者に対する訪問徴収を行った。 ・平成27年度の収納率は98.84%（B/A=0.9884） 調停額94,574,317円（A） 収入額93,485,682（B）	99%	4 予定通りの進捗	65	学校教育課
	(9) 下水道受益者負担金 〃 事業説明回数	平成27年度賦課対象件数は54件であり、その内の47件が受益者負担金徴収対象となった。 （残り7件は徴収猶予となっている。） 賦課対象者に対して、申告書配付の際に個別訪問を行い、費用負担への理解を求めた。その結果、どうしても理解を得ることができなかった1件の滞納が生じた。（47件 - 1件）/47件=97%	97%	4 予定通りの進捗	66	地域整備課
⑥ 公営企業繰出金の適正運用						
	(1) 東部地域広域水道企業団への繰出金等の適正化推進 幹事会等における協議回数	平成27年度は、幹事会における協議を3回開催した。上水道は、市民生活になくてはならない安全で安心な水を安定的に供給し、市民の健康と生活を守る大きな使命を果たすため、経営環境の変化や本市水道事業の現状、経営改善の取り組みなどを踏まえ、今後も適正な事業運営を行うため、幹事会等において、経営方針含め経営の健全化への取り組みとして、関係者による会議を実施した。	100%	4 予定通りの進捗	67	地域整備課
(2) 定員管理・給与等の適正化	① 定員管理の適正化					
	(1) 定員適正化計画の推進 意見聴取実施回数	再任用職員の意向調査と長期的な職員体制（職員年齢の平準化）を考慮する中で、職員の採用を行った。また、各課から職員配置の現状と次年度以降の事務量増減の状況を聴きとる中で、適正な職員配置に努めた。	100%	4 予定通りの進捗	68	秘書広報課
	② 給与制度の適正化					
	(1) 給与制度の推進 見直し回数	人事院勧告及び山梨県人事委員会の勧告に準拠し、12月議会では、民間との給与較差（0.4%）を埋めるため、給料月額を引き上げるとともに勤労手当の支給割合を0.1引き上げる内容の条例改正を行った。	100%	4 予定通りの進捗	69	秘書広報課
(3) 特別会計等の事業健全化	① 中央病院の経営健全化					
	(1) 中央病院改革プランの推進 経営の効率化における目標数値	中央病院改革プラン2013について、平成26年度末の進捗・評価を作成し、中央病院運営委員会、庁議において承認を得て広報及びホームページで公表した。 経常収支比率は83.0%で、計画値（97.1%）に対し14.1ポイント及ばなかった。	85.48%	2 予定未達の進捗	70	保健介護課
	(2) 中央病院事業の健全化 病院基本構想の見直しとその推進	中央病院事業の健全化については、26年度決算において5億円の赤字補てんとなったことにより、目標数値を定め、その目標に対する進捗状況を院内で共有、報告することにより、意識改革に努めた。 看護師等の医療スタッフの確保は順調になってきた。しかし、常勤医師は、27年度は実質的に減少となっており、病院経営の大きな課題となっている。	50%	2 予定未達の進捗	71	中央病院

推進項目	具体的項目 事業内容(目安となる内容) 目標指標	平成27年度	①平成27年度達成率	②最終目標(平成28年度)に対する進捗状況	計画シートNO.	担当課等名
		実績要旨(取り組み内容)				
(3) 特別会計等の事業健全化	② 各事業健全化の推進					
	(①) 国民健康保険特別会計 健全化の推進 現年収納率による適正健全な事業運営	平成27年度末の一般被保険者の医療給付費の状況は、26年度と比べると増加し、国保会計全体でも支出が増加となったが、収入も増加したため、財政状況は昨年度より改善した。今年度の保健事業については、受診機関である中央病院(4-12月)で行い、1月にバス健診を2回実施、また、かかりつけ医による情報提供を行った。特定健診の未受診者には受診勧奨ハガキや電話にて受診を呼びかけた。 【※詳細は実施計画シートを参照】 (H26年度収納率90.65% H27年度収納率90.70%)	99.56%	4 予定通りの進捗	72	市民課
	(②) 後期高齢者医療特別会計 “ 制度を理解してもらうための広報の回数	毎月の広報の中に国保高齢者医療の枠があり定期的に情報を掲載した。制度も7年が経過し高齢者に定着してきている。また保険料の納付も年金からの特別徴収が多いため、収納率も県平均を上回り、制度的には安定している。	100%	4 予定通りの進捗	73	市民課
	(③) 介護保険特別会計 “	※進行管理なし	—	進行管理なし	—	—
	(④) 介護サービス特別会計 “	※進行管理なし	—	進行管理なし	—	—
	(⑤) 簡易水道特別会計 “ 簡易水道運営委員会における経営健全化協議回数	簡易水道事業等の将来構想(ビジョン)資料に基づき、市営7簡易水道運営委員会及び地区水道組合長会議を順次開催し、本市水道事業の現状や経営改善の取り組み、経営形態や料金体系の統一化の取り組み、大月市の人口推移などについて説明会を実施した。 平成27年度一般会計繰入金 64,318千円	100%	4 予定通りの進捗	74	地域整備課
	(⑥) 下水道特別会計 “ 経営シミュレーションシステムの作成	下水道事業の経営健全化のため費用対効果を検証する中で、汚水処理施設整備構想(アクションプラン)を策定し、これまでの公共下水道全体計画処理面積681.2haを見直し462.3ha(218.9ha減)とすることとし、公共下水道計画区域以外の地域は、合併浄化槽による整備を行う。事業計画の途中であるため、上位計画である桂川流域下水道事業の計画見直しが平成32年度に行われるのに合わせ、真に下水道による汚水処理が有効な地域について、さらに検討を重ね、計画処理区域(全体計画)を見直す必要がある。H27年度末 普及率17.6% 水洗化率71.3%	50%	4 予定通りの進捗	75	地域整備課
	(⑦) 大月短期大学特別会計 “ 黒字収支による事業運営の実施	一般会計繰出金については概ね継続された。 基金への積立も通常分は継続された。	100%	4 予定通りの進捗	76	短大事務局
(⑧) 土地開発公社会計 “	※既に土地開発公社の解散が確定したため進行管理なし	—	進行管理なし	77	土地開発公社	

■ 平成27年度達成率状況割合

達成率100%以上	50.0%	(22項目)
達成率70%以上～100%未満	22.7%	(10項目)
達成率70%未満	25.0%	(11項目)
達成率表記なし	2.3%	(1項目)

■ 検証・分析結果

・ 「(1) 財政運営の健全化」

市税等の滞納対策については、目標に対しては予定通り進んでいる。

現在の内容が妥当と判断した項目については、次年度以降引き続き情報収集等を継続して検証していく。

・ 「(2) 定員管理・給与等の適正化」

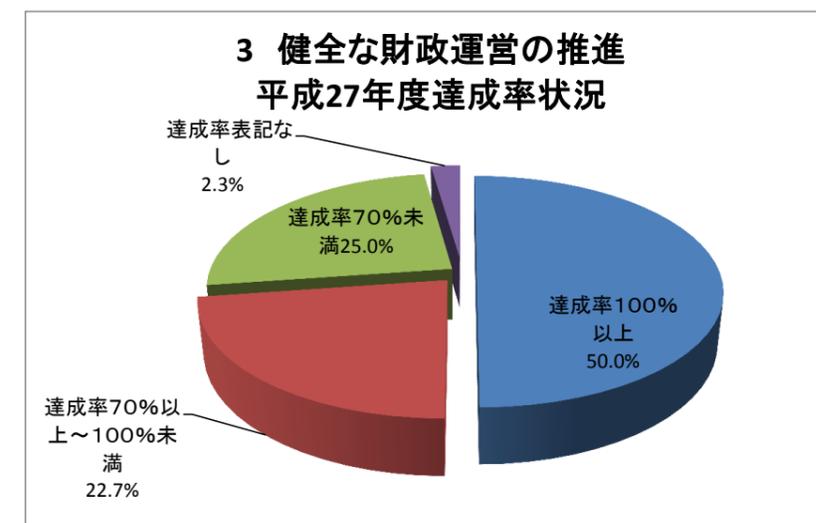
人事院勧告及び山梨県人事委員会の勧告に準拠した職員給与の見直しを実施した。

また、再任用職員の意向調査と長期的な職員体制を考慮し、職員の採用を行った。

・ 「(3) 特別会計等の事業健全化」

後期高齢者制度については、収納率が県平均を上回り、広く高齢者の理解が図られている。

簡易水道特別会計については、簡易水道事業等の将来構想に基づき、簡易水道運営委員会等へ本市水道事業の現状や経営改善の取り組み等の説明会を実施し、健全化に向けて、着実に取り組んでいる。



■ 平成28年度の目標に対しての進捗状況について（指標44項目）	割合	項目数
6 取組をすべて実施し、実施項目の目的を達成した	0%	0
5 予定以上の進捗（当該年度の取組内容以上に進捗した場合）	0.0%	0
4 予定通りの進捗（当該年度の取組内容まで進捗した場合）	52.3%	23
3 実施したが、現在の内容が妥当と判断。今後も継続して内容を検証。	22.7%	10
2 実施したが、予定未達の進捗（当該年度の取組内容まで進まなかった場合）	20.4%	9
1 次年度以降に実施予定	2.3%	1
進捗状況標記なし	2.3%	1

## 【これまでの具体的な成果】

- ・ホームページの充実（秘書広報課 実施計画シートP13）  
大月市公式フェイスブックとの連携により、平成24、25、26、27年度において、ホームページ閲覧者が増加する結果となった。
- ・大月短期大学の将来構想策定（短大事務局 実施計画シートP20）  
認証評価については、公益財団法人大学基準協会より「短期大学基準適合認定」を得た。
- ・ふれあいの館の改修（産業観光課 実施計画シートP26）  
平成25年4月13日に、ふれあいの館の1階部分を「白簾史朗写真館」としてリニューアルオープンしたところ、入場者数が増加する結果となった。  
(平成27年度5,169人 平成26年度4,024人 平成25年度3,877人 平成24年度3,406人)
- ・大月東小学校南棟の改修、北棟及び体育館の新築、学校適正配置の完了（学校教育課 実施計画シートP27）  
大月東小学校南棟改修、北棟及び体育館の新築が完成した。  
また、大月西小学校、強瀬小学校、富浜中学校の閉校に伴い、小学校5校、中学校2校になり適正配置が完了した。
- ・消防業務広域化の推進 消防業務の広域化・高機能指令センターシステムの整備（消防本部 実施計画シートP33）  
大月市、都留市、上野原市の3市で取り組むこととなった高機能消防指令センターシステム及び消防救急デジタル無線システムの整備については、整備が完了し運用が開始された。
- ・診断書料等の文書料金の見直し（中央病院 実施計画シートP44）  
診断書料等の文書料について、他の公立病院の書類料金を調査した結果、料金を見直しを行うこととし、平成26年3月議会に「大月市立中央病院使用料等徴収条例改正の件」を提案し、議決を得たことから、平成26年4月1日から新たな料金で運用を行っている。
- ・敬老祝金及び長寿祝金の見直し（福祉課 実施計画シートP48）  
敬老祝金及び長寿祝金の見直しを実施した。敬老祝金の101歳以上については、50,000円を30,000円に引き下げ、長寿祝金を200,000円から100,000円に引き下げた。その財源で、中学生の医療費助成制度を導入した。